

政策提言 がんばるぞ!



今年度受け入れた岡山県立大学のインターンシップ生。8月9日、市役所で開かれた開講式で「がんばるぞ」と決意した

インターンシップ生23人が市政に政策提言 最優秀提言は実行へ

大学生が在学中に、専攻や将来目指す職に関連した企業や公共機関などで就業体験をするインターンシップ。市では、8月8日から9月22日までの間、インターンシップ生として受け入れた岡山県立大学の学生23人から市政への提言をもらいます。

インターンシップ生は、市の制度や政策の改善、新たな試みなど、総社市が実行すべき課題を政策提言書として提出します。

提出された提言は、市と大学で審査します。新規性や獨創性、実現可能性、将来性などの観点から優秀提言を3点以内で選定。さらに、プレゼンテーションを経て、最もすぐれた提言1点を選び表彰します。この提言は、「私たちが考え、私たちが実行するまち総社市」の実現のため、実行に

移したいと考えています。

こども課や企画課、商工観光課、市図書館、人権・まちづくり課など13部署でインターンシップ生を受け入れました。5日から10日間、市役所のさまざまな業務を体験。学生らしい感性や感覚による獨創性に富む提言が期待されています。

提言の募集は、8月4日、岡山県立大学で行われた同大学との連携会議で市が提案し、実施するものです。
問い合わせ 企画課企画調整係 (☎8213)



企画課に配属になったインターンシップ生の川崎崇明さん(デザイン学部、写真右端)。広報の取材と記事の執筆を体験し、「広報の仕事にふれ、取材方法やデザイン面など貴重な体験となった」と話す

総社市新生活交通 みんなで乗ろう! 雪舟くん

待合所や宅配で雪舟くんを支援 相互支援の協定を締結 市内の3店舗と調印



締結後の記念撮影。3事業所は、「知恵を出し、雪舟くんの利用促進に協力したい」と、声をそろえた

市内の3店舗が、総社市新生活交通「雪舟くん」専用の待合所の設置や買い物品の宅配などを行い、雪舟く



コープ総社東が整備した雪舟くん待合所



天満屋ハピータウンリブ総社店の待合所

んの運行を支援しています。

生活協同組合おかやまのコープ総社東は、7月の店舗改装時に約4㎡の専用待合所を新設。8月2日から

は、3000円以上の買い物をした人への無料の宅配サービスや雪舟くんで購入した人に300円分の買い物券の進呈をしています。天満屋ハピータウンリブ

総社店も、5月から宅配サービスを実施。また、東側出入口に専用の待合所も設けています。サンロード吉備路は、ロビーを待合所として提供します。
市では、「雪舟くん」の利用促進と店舗の集客数の増加の相乗効果を図ろうと8月1日、この3店舗と「総社市新生活交通「雪舟くん」相互支援に関する協定」を市役所で締結。市はこれらの店舗の支援内容の周知・広報を行います。
7月には1日平均約189人が、通院や買い物などで雪舟くんを利用しています。

問い合わせ 人権・まちづくり課安全安心係 (☎8249)

東日本大震災の被災地への義援金 ありがとうございました

東日本大震災の被災地への義援金は8月5日までに、個人と団体を合わせて4553万85

18円をお寄せいただいています。ご協力いただきました皆さんに厚くお礼申し上げます。

ここでは、義援金にご協力いただいた方で、掲載の確認のと

- れた方を紹介しており、順次掲載していく予定としています。
- ▼総社 中尾治 ▼小寺 小林 薫、小原榮治 ▼三輪 平田晴美 ▼富原 長谷川利三郎 ▼久代 桑原勝 ▼西郡 久保勝
- ▼団体 総社中央小学校児童会、株式会社倉敷ケーブルテレ

ビ、きよね夢てらすコンサート、総社中学校昭和38年度卒業生有志一同、木製帆船模型同好会、明日葉鍼灸治療院お客様募金箱、地縁法人塚元親和会

〔敬称略〕